

ヒロシマ平松病院 医療従事者負担軽減及び処遇の取り組みと計画(令和3年度)

2022/7/21

達成度:達成○、部分達成△、未達×

職種(対象職員)	現在の取組内容	R3年度達成度	今後の目標	目標達成年度
すべての職員	インサークルの導入による院内連絡事項を効率化	○	業務及び体制を再検討し、職員処遇の充実を図る。	-
	Edge Tracker利用による給与明細業務の効率化	○		
	401K加算掛金制度の導入	○		
	給食費(半額)病院負担による処遇改善	○		
	医療費負担(5000円上限)による処遇改善	○		
	病院機能評価受審に向けて業務の見直し、適正化、効率や改善による負担軽減	○		
	定年制度の変更(60歳から65歳へ、65歳から70歳まで継続雇用可)	○		
	《慶事休暇の制度導入》結婚 本人:6日、子女:3日、兄弟姉妹:1日、配偶者出産:2日	○		
	忌引 父母、配偶者、子:6日、祖父母、兄弟姉妹、配偶者の父母:2日、子の配偶者、孫:1日	○		
	毎年のストレスチェックの実施	○		
	毎月衛生委員会を開催、産業医からの身体・精神について情報提供	○		
	産業医による毎月の職場巡視と希望者への面談の開催	○		
	ハラスメント防止規定等の整備	○		
	タイムレコーダーの各フロアへの設置による労働時間の管理改善	○		
	正規、非正規の均等、均衡待遇の実施	○		
賃貸マンションの紹介(敷金礼金等不要による優遇)	○			
遠隔研修参加による出張移動時間の負担軽減	○			
院内における朝礼及び会議のZOOM利用による感染リスクや移動時間等の負担軽減	○			
ワイエムプレミアムビジネスクラブ入会によるビジネスセミナー視聴	○			
3日/週かつ15h/週以上勤務者	業務災害総合保険の加入(保険料は病院負担、業務災害とそれ以外にも対応)。	○		
小学校就学の始期に達するまでの子を養育する職員	子の看護休暇制度の導入(子一人5日/年、二人以上10日/年)	○		
要介護状態にある家族の介護や世話をする職員	介護休暇制度の導入(当該対象家族が一人5日/年、二人以上10日/年)	○		
要介護状態にある家族を介護する職員	介護時短勤務制度の導入(所定労働時間6時間)	○		
小学校に入るまでの子を養育する職員	育児時短勤務制度の導入(所定労働時間6時間)	○		
医師	各病棟・外来に対し、医師事務作業補助者(クラーク)の配置し、事務作業の軽減	○	管理当直の申請↓達成未	令和3年度
	外来診察の勤務配置を見直し、1日外来の医師を半日ごとの外来で配置	○		
	外来のAI問診システム(Ubie)の導入	○		
	オンライン診療サービスcuron(クロン)の導入	○		
	HMネットへの参加	○		
	地域連携室介入による他病院とのやり取りの軽減	○		
	手術のクリニカルパスの作成により医師の指示量の減少	○		
	麻酔同意書から麻酔説明同意書へ変更による説明の均一化	○		
	麻酔科術後指示の方法変更(手書きから電カル入力へ)	○		
薬剤師	クラーク1名を配置し、薬剤師より事務作業のタスクシフト(増員予定)	○		
	TOSHO EU 全自動錠剤分包機の導入	○		
	MDC処方履歴紹介システムの導入	○		
看護師	看護補助者の配置	○	業務及び体制を再検討し、診療支援の充実を図る。	-
	看護補助者の夜間配置	○		
	手術室へクラーク1名の配置し、事務作業のタスクシフト	○		
	皮膚・排泄ケア認定看護師を配置し、相談や指導を受けやすい環境へ	○		
	病棟クラークの配置により、看護師の指示受け等の軽減	○		
	外来のコンシェルジュ配置による外来看護師の負担軽減	○		
	年度当初採用(中途採用なし)による教育負担の軽減	○		
	外来のAI問診システム(Ubie)の導入	○		
	患者さん用のクリニカルパスを作成し、説明内容の統一と負担を軽減	○		
	手術のクリニカルパスの作成により看護師の指示受けの減少	○		
リハビリ	リハビリ助手とクラークを配置し、療法士より業務のタスクシフト	○		
地域連携室	クラーク1名を配置し、社会福祉士より事務作業のタスクシフト	○		
医師事務作業補助者(クラーク)	病棟:担当病棟あり、不在時に他クラークが対応できるようタスクシェア 外来:担当医師あり、不在時に他クラークが対応できるようタスクシェア	○ ○		
診療情報管理室	過去の診療記録について、外部倉庫での保管に変更及び文書集約	○		
受付(医事課職員)	外来のコンシェルジュ配置による問い合わせの分散	○		